

ありがとう
市民会館

特集

大村市民会館閉館

2016.3.31



49年間、文化活動を見守る

約半世紀の歴史に幕



➡向陽幼稚園から、市民会館スタッフへのメッセージが舞台横に飾られていました。かわいらしい絵とともに、「たくさんのおもいでができました。」と、感謝の言葉がつづられていました。

市民会館の完成を報じる当時の市政だより(昭和42年5月20日号:No.500号)



市民の芸術・文化の拠点として親しまれてきた「大村市民会館」が、3月、その歴史に幕を下ろします。

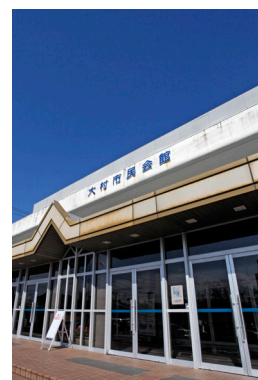
市民会館は、昭和42(1967)年、市制施行25周年を記念して建設しました。落成とともに記念式典を挙げる。文化団体などが踊りを披露し、完成を祝いました。

施設は、モーターボートの収益金などを利用して整備され、本館のホールに加え、別館に楽屋や会議室、2階には市立図書館や結婚式場も。当時、千人を収容できる会館は、長崎、佐世保にしかなく

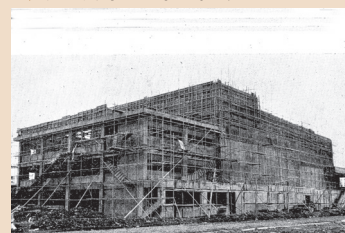
みんなの思い出の中に

以降は改修を重ねながらも、市民の文化の向上のため、子どもたちの発表会から、著名人を招いての講演会やコンサートまで、幅広い年代の人たちが集い、親しまれる会館に。さまざまな人の思い出の中に、市民会館があります。

会館では毎年、小・中学校の音楽祭が開催されています。会館ができてから大村で生まれ育った人たちなら一度は、その舞台上に上がっているはず。1月10日、市民会館では最後の成人式を行いました。恒例となった中学生時代に歌った「大地讃頌」の全員合唱。今年も感動的な歌声が、最後の市民会館に響き渡りました。



建設中の市民会館

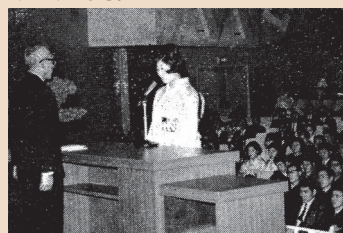


1966

市民会館オープン
市制施行25周年記念式典

1967

市民会館で初めての成人式を開催



1968

大村少年合唱団結成

パリに本拠を置く少年合唱団が市民会館でコンサート



1971



市内青年団の文化祭の様子。毎年の恒例行事でした。



市民会館に結婚式場を設け、第1号のカップル誕生

市民会館メモリアル
since 1967

思い出を語ろう

インタビュー③

合同会社 バックステージ代表

松添 和敏さん



伝統を受け継いでいく

市民会館が全面改修された平成4年から、舞台運営を担っています。市民会館はわりと子どもや学生が使うことも多く、そのステージを最高の舞台にしたいという思いで演出してきました。特に、中学校音楽祭の「大地讃頌」の合唱は、15歳でステージに立った思い出から5年後に、成人式で全員合唱する伝統が確立しつつあることをうれしく思います。市民会館で培われたこれらの伝統をこれからも受け継いでいきたいですね。



今年の成人式の大地讃頌大合唱

インタビュー②

「ゆうおん」を立ち上げた

田中 英雄さん



いい仲間と出会えました

音楽が好きで、昭和51年に「ゆうおん」を立ち上げ、7年程活動しました。会員に希望を聞きながら、有名アーティストのコンサートを市民会館で実現。2か月に1回のペースで開催していたので大忙しでしたが、おかげでたくさんのいい仲間と出会えました。一番印象に残っているのはチューリップのコンサート。会館に入りきれず立ち見のお客さんが出る程、大盛況でした。閉館は残念ですが、大村の地理的優位を生かして、有名なアーティストを呼んでほしいですね。



コンサートの告知とチケット(昭和52年)

インタビュー①

大村・諫早市民劇場 初代代表

寺坂 栄一郎さん



心に残る芝居を

私が教師をしていた頃、知人らと市民劇場を立ち上げました。私が学生時代に見た芝居がとても印象深く、生徒たちにも心に残る芝居を見せたい一心で奔走しました。九州各県の市民劇場の協力で、名高い劇団を誘致し、会員数も増えていきました。諫早文化会館ができてからは拠点が移りましたが、市民会館はワンフロアで声も行き届き、芝居にはちょうどいい広さ。市民に舞台芸術に接する機会を創出できたことは私の誇りです。できれば「夢もう一度」の気持ちです。



第1回市民劇場「真夏の夜の夢」(昭和44年)

NHKのど自慢の公開録画。
↓ ゲストには松田聖子さんも。



この頃の市民会館。ボーリング場が隣接していました。



30周年記念式典前に撮った写真。どん帳もそのまま。



市制施行30周年

1983 1981 1980

1976

1975 1973

1972 <<<



↑ 夏越まつりの前夜祭でザ・マンザイを開催。

市コミセン開館
諫早文化会館開館



↑ 大村少年合唱団の第1回発表会の様子。

長崎空港開港

市立図書館開館

★大村市民会館49年間ありがとう!★

閉館を彩る

ファイナル・イベント

3月31日(土)、午後7時～

入場整理券は3月1日から配布

開館からこれまでの、懐かしのヒット曲と映像でつづるステージ。大村出身のアーティストとOMURA室内合奏団アンサンブルが奏でます。

ジュニア・ウインド・オーケストラ「ワンコインコンサート」

3月30日(水)、午後1時30分～

市民会館で育った市内外の中学・高校吹奏楽部&OBIに、OMURA室内合奏団が指導、共演。当日楽器持参者は無料!



大人:500円、高校生以下:無料
28・29日はリハーサルを公開!

ファイナル・イベントを飾る大村出身のアーティスト

おもいでを
ひとこと



インタビュー⑥

シンガーソングライター

タナカハルナさん

おもいでを
ひとこと



インタビュー⑤

シンガーソングライター

草野 仁さん

おもいでを
ひとこと



インタビュー④

シンガーソングライター

カツルミさん

母のような市民会館

初めて舞台上がったのは小4の市民音楽祭でした。そして8年在籍した大村少年合唱団では何度となくこの舞台に立ち、まさしく私の「ホーム」となりました。今は仕事でステージに立っていますが、その時の経験がどんな舞台の時もそっと励ましてくれます。閉館してもその魂は、いつも私に寄り添ってくれているような気がします。

私の思い出の場所に

市のイベントやコンサートといえば市民会館で開催されているイメージです。私の市民会館の思い出は、小中学校の時の合唱コンクールでステージに立った記憶があります。最近では、市制施行70周年のイベントで、私と同姓同名の元NHKアナウンサーの草野仁さんに楽屋でお会いさせていただいた思い出の場所です。

市民会館は私の原点

大村少年合唱団に入団した小3のとき、初めて市民会館のステージに上がりスポットライトを浴びました。緊張でガチガチでしたが、何とも言えない感動と興奮を感じたことを今でも鮮明に覚えています。閉館はとてもさびしいですが、ここは私の原点ともいえる場所。ここで味わった感動は私の中でいつまでも輝き続けています。

現在も定期演奏会を続ける
大村少年合唱団。



結成
OMURA室内合奏団

市民会館を大規模改修。舞台や客席、外装などを改善。



市民会館リニューアル

メゾソプラノ歌手・村嶋さんが
凱旋し、ミュージカルの公演



天正遣欧少年使節
帰国400年記念祭

2016

2013

2004

2001

1998

1992

1991

1990

多くの文化・芸術・音楽
団体の皆さんと歩ん
できた市民会館が閉館



松竹大歌舞伎による公演。
松本幸四郎さんが来大。

市振興公社運営開始
シーハットおおむら開館



少年合唱団と勸作座の合同
公演「勸作よ、ローマに行け!」

ふるさと劇団・勸作座
旗揚げ公演